

応仁の乱

名前

解答

解答

- 問1 第8代将軍の足利義政の跡継ぎ問題をめぐり、守護大名の細川氏と山名氏が対立し、1467年に争いが起こった。この争いを何というか。 (応仁の乱)
- 問2 問1の乱で活躍した軽装の兵士を何というか。 (足軽)
- 問3 1485年、山城の南部では、武士と農民とが一体となって一揆を起こした。この一揆を何というか。 (山城国一揆)
- 問4 浄土真宗の信仰で結び付いた武士や農民が起こした一揆を何というか。 (一向一揆)
- 問5 1488年に加賀で起こった一揆では、守護大名を倒して、その後100年にわたって自治が行われた。この一揆を何というか。 (加賀の一向一揆)
- 問6 問1の乱の後、実力のある家来が守護大名の地位を奪うなど、実力のある者が上の身分の者に打ち勝つ風潮が広まった。これを何というか。 (下剋上)
- 問7 守護大名の地位を奪って実権を握ったり、守護大名が成長することで実力によって国を支配するようになった大名を何というか。 (戦国大名)
- 問8 問1の乱の後、約100年間にわたって全国各地で混乱と争いが続いた。この時代を何というか。 (戦国時代)
- 問9 戦国大名が作った独自の法律を何というか。 (分国法)
- 問10 戦国大名は、城の周辺に家来や商工業者を集めて町を作った。このような町を何というか。 (城下町)
- 問11 戦国大名が保護を与えた博多の商人によって開発された銀山を何というか。 (石見銀山)
- 問12 駿河、遠江、三河の三国を支配した戦国大名であり、桶狭間の戦いで織田信長に敗れたのは誰か。 (今川義元)
- 問13 中国地方の戦国大名であり、“三矢の訓”を説いて、兄弟の結束を訴えたのは誰か。 (毛利元就)
- 問14 甲斐国の戦国大名であり、風林火山の旗が有名なのは誰か。 (武田信玄)

